

令和4年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ warm up でチャンツや歌でリズムに乗りながら単語や表現を楽しみながら覚えている様子が見られる。
- ・ リスニング力が定着してきており、詳しい内容はわからなくても、内容を推測しようとしていたり、積極的にALT とコミュニケーションをとろうとしたりする様子が見られた。

(2) 課題

- ・ 新しく覚えた文型や単語を使って英文を書く時間を増やし、書く力の向上を図る。
- ・ 日本と世界各国の文化を比べるなどの児童の実態に合った必然性のある学習活動を取り入れる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第5学年	大田区学習効果測定の教科外のためなし		
第6学年	全体の正答率としては5割程度の問題が全国の平均を下回る結果となった。「単語の意味理解」「英文の完成」では、目標値・区・全国の平均を上回る結果となった。	「知識・技能」「思考・判断・表現」では、目標値・区・全国平均を5ポイント近く下回っている。「主体的に取り組む態度」では、目標値・区・全国平均を8～10ポイント近く下回っている。	

(2) 分析 (観点別)

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単語や短い言葉を聞き取る力は身に付いている。アルファベットの定着率に関しては、個人差が大きく、特に小文字を理解していない児童も数名いる。	自分の好きなものや得意なものを伝えたり、学校の紹介をしたりする学習では習った単語や表現をできるだけ多く活用し、より良い文を作ろうとする児童が多く見られた。	英語を学ぶことに対し抵抗感をもっている児童も数名いるが、学習が始まると多くの児童が英語の学習を楽しんでいる様子が見られる。学級の児童同士でのやりとりを楽しんでいる。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アルファベットを書くことが苦手な児童も多いため、書き方の基礎基本からの指導を丁寧に行う。また、新しく覚えた文型や単語を使って英文を書く時間を増やし、書く力の向上を図る。	外国語の音声やリズム、日本と外国語との生活習慣や行事などの違いを知る機会を増やし、言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。	言語活動を優しいものから段階的に入れ、学級の友達同士やALTなどと積極的にコミュニケーションが取れるようにする。